



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和元年11月15日

市長記者会見資料

## 令和元年度「かわさきマイスター」を認定しました

「かわさきマイスター」については、今年度、9名の応募があり、かわさきマイスター選考委員会での審議の結果を踏まえ、新たに4名を認定しました。

「かわさきマイスター」は、極めて優れた技術・技能で本市産業の発展や市民の生活の向上に御尽力いただいているとともに、後継者や若手の指導にも熱心な現役の職人の方々に市内最高峰の匠として贈る称号です。本事業は平成9年度から開始しています。

\* マイスターとは、ドイツ語で「名人」「親方」を意味します。

### 1 令和元年度かわさきマイスター認定者

- (1) あさい つぎお 浅井 次雄 氏 (切削工具研削)
- (2) いいた せいじ 飯田 誠二 氏 (高圧配管溶接)
- (3) こばやし まこと 小林 誠 氏 (人形師)
- (4) すなやま さちこ 砂山 幸子 氏 (洋裁技能士)

※今年度認定者の方々を加え、これまでに74職種105名の方々が認定者となります。

「人形師」は初めて認定になる職種です。

### 2 配付資料

- (1) 令和元年度かわさきマイスター認定者 資料1
- (2) 令和元年度かわさきマイスター認定者技能紹介 資料2

#### 【問合せ先】

川崎市経済労働局労働雇用部技能奨励担当 佐藤・岩田

電 話 044-200-2242

FAX 044-200-3598

E-mail 28roudou@city.kawasaki.jp

## 令和元年度かわさきマイスター認定者

氏名	年齢	職種	従事年数	勤務先・役職
浅井 次雄	65	切削工具研削	45	有限会社研精工業所 (中原区中丸子) 副社長
飯田 誠二	51	高压配管溶接	28	有限会社飯田工務店 (川崎区旭町) 代表取締役
小林 誠	53	人形師	30	林屋人形店 (川崎区新川通) 代表
砂山 幸子	75	洋裁技能士	54	砂山衣服研究所 (高津区北見方) 代表

- ※ かわさきマイスター認定式は令和元年11月20日(水)に実施します。  
技能功労者表彰と同日開催となります。
- ・時間 14時00分～16時00分
  - ・場所 川崎市立労働会館(サンピアンかわさき)大ホール  
(川崎市川崎区富士見2-5-2)
- ※ 年齢及び従事年数は令和元年11月15日時点を基準としています。

## 1 浅井 次雄（あさい つぎお）さん

- (1) 年 齢 65歳
- (2) 職 種 切削工具研削
- (3) 従事年数 45年
- (4) 有限会社研精工業所 副社長



浅井さんは、光ファイバーなどの製造で用いられる精度の高いカッターの刃などの工具製作の分野で、高い技術力を持たれている方です。

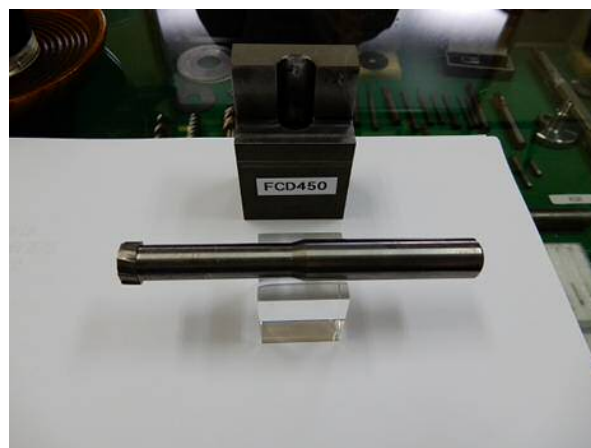
エンドユーザーの希望に沿った一品物の特殊工具の製作では、自らCADで図面を引き、製造工程の工夫を行います。中には、光ファイバーのような繊細なものを切断するため、わずか数ミクロンの誤差も許されないような高い精度が求められる工具や、一本で金属に穴を空け、かつ仕上げまで行えるバニシングドリルのように他社では製造が難しい工具もあります。そのような工具には、ダイヤモンドや超合金など加工の難しい素材を使用しており、そのような素材を精密に加工していく作業は難易度の高い研削作業になりますが、浅井さんの考案した大きさ数ミクロンのダイヤモンドを装着した工具や、通常は1つの装置に1枚しか用いない砥石を複数枚用いた独自の製造装置を使用することで、他社では製造できないような特殊工具やオリジナル製品の製造も可能にしています。

後進の育成の面では、工場には長女と長男が入社し、他の社員を含めて自身の研削技術を伝えています。1つの技術を極めて専門性を高めたい社員や、多くの技術を広く学んで多能工として働きたい技能者など、それぞれの従業員の希望に合った研鑽を技術面からサポートしています。

浅井さんは、常に創意工夫を怠らず、自らの技術力を高めながら、社員の技術・技能の向上にも心を砕くマイスターです。



光ファイバーカッター刃（中央箱）



リーマ（穴径を広げる工具）

有限会社研精工業所

住所 川崎市中原区中丸子521

## 2 飯田 誠二 (いいた せいじ) さん

- (1) 年 齢 51歳
- (2) 職 種 高圧配管溶接
- (3) 従事年数 28年
- (4) 有限会社飯田工務店 代表取締役



飯田さんは、高圧ガスを安定的に供給するために不可欠な、配管溶接の高い技能を持っています。水を使用する消火設備が使えない場所には「ガス系消火設備」が設置されますが、その設備に付着するための高圧配管の製作を主に行っています。高圧ガスを安全に、安定的に供給するため、パイプ状の配管を真っ直ぐに仕上げする必要があります。飯田さんは、4m前後もある長く太い配管に、枝分かれする細かな配管の接合部分を、①連続して、②等間隔で、③垂直に溶接することを得意としています。通常、長い配管に細かな配管の溶接を連続して施すと、その長さに応じて配管に大きな反りが生じてしまいますが、飯田さんの溶接の技術はその反りを予測し、溶接する順序を考え、修正を加えながら、配管を反らさず真っ直ぐに仕上げることができます。また、長い配管に対し、枝分かれする配管を垂直に溶接するにも熟練された技術が必要とされます。溶接の調子が悪い時は、溶接する時の音を聞きながら修正を加えていくなど、経験に裏打ちされた技術が光ります。飯田さんの溶接の技術で完成したガス系消火設備は、各種プラントやオフィスビル、立体駐車場などに設置され、市民生活を支える場で活かされています。

また、「鉄」や「溶接」といったものの魅力を次世代に向けて発信したいという思いから、自身の高い溶接の技術を、オリジナルの楽器製作にも活かしています。廃品となったガスボンベなどを活用した打楽器や、転がすと音が鳴る鉄の玉などを製作し、その調律も自分で行っています。

飯田さんは溶接の技術を磨きながら、常に仕事を楽しむことを忘れず、溶接の魅力を次世代に伝えようと奮闘するマイスターです。



集合配管溶接部拡大図



ガスボンベで製作した楽器

有限会社 飯田工務店

住所 川崎市川崎区旭町1-19-12

### 3 小林 誠（こばやし まこと）さん

- (1) 年 齢 53歳
- (2) 職 種 人形師
- (3) 従事年数 30年
- (4) 林屋人形店 代表



小林さんは、伝統的な日本人形を中心に、人形全体のバランスや造形を考えながらデザインすることができる方です。国内では数少ない人形制作を行っており、主に「面相」や「冠」の部分の制作を分担している技能者です。

「面相」の制作に当たっては、前髪や眉を一本ずつ手描きで描いていきますが、筆を使い一本ずつ同じ太さで何度もなぞりながら描いていく必要があります。繊細な技能を求められます。この筆使いを習得するのに、10年以上の時間を掛けてきました。さらに、人形に豊かな表情を持たせるため、下塗りと呼ばれる下地制作の作業を手作業で行ったり、男性と女性の「面相」で前髪の長さや太さを微妙に変化させたり、高貴な男性が「笏」<sup>しやく</sup>を持つ手を日本古来の持ち方で造形したりと、制作する人形の随所に小林さんのこだわり、技術の高さが表れています。また、人形の頭の形・大きさに合わせて「冠」を作ることで職人の一人でもあります。かんざしで「冠」を留めるなど、伝統的な技法を用いながら、顔との調和が取れた「冠」を手作業で制作している数少ない職人です。

文化の継承という面では、国内で人形制作を行う職人がどんどん少なくなる中で、関東近郊の若手の人形師とグループを組み、その最年長として、人形制作の技術や知見を同じグループ内の若手に伝承する取り組みを行っています。

小林さんは、日本の伝統文化を守りながら、それを次世代へ継承する思いを強く持たれているマイスターです。



「面相」の表情作り



製作した「冠」(右側の人形)

林屋人形店	
住所	川崎市川崎区新川通3-10

#### 4 砂山 幸子（すなやま さちこ）さん

- (1) 年 齢 75歳
- (2) 職 種 洋裁技能士
- (3) 従事年数 54年
- (4) 砂山衣服研究所 代表



砂山さんは、高い洋裁の技能を持ち、業界の後進の育成にも力を入れられている方です。主にミシン縫いを得意としています。仕事場には旧式のミシンが数種類ありますが、それらを状況によって自分の手のように使いこなし、良質な洋服の仕立てをしています。着る人の体形の特徴をすぐに見抜き、素早くパターン起こしをして、着やすく型崩れしない洋服を製作することができるため、親子から年配者まで、幅広い年代のお客さんがあるそうです。それ故、一度仕立てた洋服でも、また別の方が着たいという要望もあるそうで、新しく着る方の体形に再度合わせて洋服を仕立て直すということもあります。着物の反物やヘビーシルクのような難しい素材のものでも綺麗に仕立てることのできる技能を持っています。

砂山さんの後進の育成面での貢献は非常に大きなものがあり、若い人にいかに洋裁に興味を持ってもらえるかを考えながら指導をしています。デザインやパターン起こしから、実際のミシンを使った縫製の作業まで、洋裁に関わるあらゆる作業の指導を行っています。現在では講座を開講し若い方に自身の洋裁の技能を教えることに主眼を置きながら、合間を縫ってオーダーメイドの製品を作っています。東京都の職業能力訓練校での指導や、洋裁技能士に対する指導、また技能検定の学科講師なども務め、業界に対する貢献度の非常に高い方です。

砂山さんは、自身で極められた洋裁の技能を惜しみなく後進に伝え、若い世代に洋裁の楽しさを伝えることで、業界の発展に積極的に貢献するマイスターです。



ミシン縫いの様子



オーダーメイド製品例

砂山衣服研究所	
住所	川崎市高津区北見方2-32-11